

2022 年も実施します！【関東地区・関西地区】ただいま準備中

# JGA 全国通訳案内士新人研修会

一般社団法人 日本観光通訳協会(Japan Guide Association)

JGA の新人研修は開催歴 59 年！ 2022 年も実施いたします

詳細発表まで少々お待ちください

## 2021 年春実施 関東地区研修 Daily Report

～会員向けメーリングリストに投稿された日々のレポートです～



1日目は終日の集中講義。業法から実務まで、全国通訳案内士として、プロとして、仕事をしていくために必要な業務知識はもちろん、色々な場面でさまざまな対応を求められること、関係者との協調なしにはやっていけないこと、などを講師がそれぞれの経験談も交え、伝えていきます。マスクをして、席の間隔を広くとり、会話も避けての研修となりますので、会場は静か。広範な話には戸惑う部分や、眠気のでる時間帯もあったと思いますが、皆様、熱心に取り組まれていました。今年は江戸東京博物館内の会場を利用。せっかくの機会ですので、両国のオリエンテーションも実施しました。初日は無事終了しました。

2日目は都内と成田空港の実習です。

まずは、貸切バスでの実習を活かして車窓や距離感・所要時間を実体験しながら、各研修地の案内手順をチェックし、ガイディングのヒントもつかもうというフル回転の都内実習。運転手さんも講師の話にあわせて徐行したり停車位置を調整したりとサポートしてくれます。

皇居外苑の楠公駐車場は貸し切り状態(現在、事前予約制になっています)ですが、インバウンド最盛期のピークの様子も描きながら、ガイドとして案内する場面をシミュレーションしていきます。青空のもと、実地に出て受講の皆様もいきいきしたご様子に。二重橋前で公共交通機関やハイヤー・タクシーで来た場合の動線や乗り降りの場所を説明していると、見張り所の警察の方も聞き耳をたてています。研修の意義は色々なところにあります。明治神宮では、観光バスは少ないものの、婚礼の行列やお宮参りのご家族など、いつもの週末のにぎわいがありました(整備の遅れていた第1駐車場のトイレがきれいになっています)神社や神道、酒を飲む習慣や日本人の感覚をどう伝えるか、受講の皆様と一緒に考えていきます。

東京タワーの展望台からは、見えるものの説明だけでなく、東京の特徴は何か、それをどう伝えるかも考えます。エレベーターの定員から売っているお土産もののラインナップまで、ガイドの目での観察にも大忙しです。



昼食休憩の後は、成田空港へ。SMART CHECK-IN の導入など新しい設備を確認しつつ、お客様を送る場合、お迎えする場合のポイントを確認します。免税のルール、JR パスの手続きと研修内容は多岐に

わたりますが、受講の皆様の理解は早く、ポイントをついた質問がどんどん出てきます。

お台場や臨海エリアも研修して、東京駅で実地研修の1日目は終了。歩行距離の長いタフな一日だったと思いますが、笑顔でバスを後にされました。お互いの経験や情報を交換される様子、講師の分からない植物も調べてくれる方、皆様しっかりとっていらっしゃいます。この先も充実した研修になるよう力を尽くしたいと思います。

3日目は、都内発着の日帰り型観光の例として、日光のバス実習です。

目的地まで長距離バス移動の時間をどう使うか、先輩ガイドである講師が例をあげていきます。車窓には何が見えるのか、きちんと確認できるのもバス実習の良さ。トイレ休憩も大事なチェックポイントです。

天気の良い週末とあって日光山内も人出が見られました。桜は満開、赤いやシオツツジもきれいです。動線や誘導のコツだけでなく、東照宮を楽しむために必要な背景として日本の歴史をどう切り取って解説するかなど、つきることないガイドの工夫を現場で実感してもらいます。



昼食休憩の時間を利用して、神橋など周辺も見学。金谷ホテルでは、「日光歴史コンシェルジュ」が館内を案内してくださいました。いろは坂から、まだ冬枯れの色を見せる中禅寺湖畔へ。少し肌寒いものの男体山もきれいに見えました。

華厳の滝を最後に都心へ戻るバス内では、参加者それぞれがマイクを持ち、ガイドとして使う言語でまず自己紹介。簡潔に話すこと、お客様の耳に入りやすいトーンや話し方はガイドの大事なスキルです。

事故渋滞で帰着が遅れましたが、講師のリードのもと、世界の名所を見て来たであろう訪日客へのご案内をどうプロデュースするか、徳川家康の家訓をうまく伝える訳し方は？など、アイデアを出し合ったり、それぞれの体験談を共有したり。研修を通じた仲間同士のつながりが育っているようです。

4日目、バス実習の最終日は富士山・箱根です。

連日の朝早い出発ですが、参加者の皆様は今日も元気な笑顔で、集合時間の10分前には全員集合、出発となりました。道路状況もスムーズ、間もなく富士山も見えてきて、いつもこんな富士山・箱根ツアーだったら良いと思うすべりだしです。休憩のサービスエリアでも資料を集めたり、売っているものをチェックしたりと、皆さんガイドの目でどんどん動いていきます。

改装を終えたばかりの富士山世界遺産センター、富士スバルライン、バスをとめて富士山の写真ストップのできる場所、などなど要所を研修。富士山が見えない場合や、悪天候の場合について聞いておくことも大事です。だんだん見えなくなっていく富士山に変わりやすい状況も実感できました。

名物「ほうとう」の昼食の後は箱根への移動ですが、出来立ての須走道路を一早く経験できました。

箱根では、大涌谷など人気スポットの景色(富士山はどの方向に見える?)、遊覧船はじめ観光としての乗り物を組み合わせたコースの例や、それぞれの特徴、手続きなどをしっかり確認します。

箱根町では伝統工芸の箱根寄木細工について、実演付きで説明を受け、秘密箱だけでないからくりの数々にも笑ったり驚いたり。

帰路は今日もマイクを使った練習をしながら、順調に都内に到着。日帰り観光のペース配分、お客様の気分や疲れも感じられる一日となりました。

3日間お世話になったドライバーさん、ありがとうございました。



5日目、最終日の午前はウォーキングによる実習です。  
浅草からスカイツリーまで、2班に分かれてスタート。  
空模様が気になる中、今朝も皆様、集合よく、全員が皆勤賞です。  
どちらも交通手段によって動線の異なる訪問地。とくに浅草は、  
バス乗降ルールや、水上バスを含む多様なアクセスに加え、何を  
目的とするかによって、どう「浅草」を切り取って案内するか、  
ガイドにとっては頭の体操のような場所。



団体ツアーの場合、個人のお客様の場合....、などなど具体例を描きながらの実習に、質問も色々出てきます。  
浅草寺・浅草神社だけでなく、町の魅力、お買い物、写真スポットなどそれぞれに紹介の仕方を考えるのも良い練習になります。

ピーク時の混雑が今は想像しにくいスカイツリーに着く頃には、案内される側のお客様の疲れや気持ちも実感。それもガイドには大事なことです。

午後は江戸東京博物館内の会場で先輩 2 名の体験談と Q&A。大手旅行会社のガイドアサイン担当の方をお招きしての特別講義では、旅行会社がガイドに求めることはもちろん、市場の傾向や業界が今、世界に対応を求められている色々な課題についてもお話がありました。

修了式の後には、10 社の旅行会社様・派遣会社様等がご来場下さり、修了証を手にしたばかりの参加者と名刺を交換、丁寧に一人一人とお話をして下さいました。

関東地区の新人研修も無事に終了いたしました。お力添えをいただきました多くの皆様に御礼申し上げます。研修を修了された新しいお仲間とともにお客様をお迎えする日が早く来ることを願ってやみません。

## 2021 年春実施 関西地区研修 Daily Report

～会員向けメーリングリストに投稿されたレポートです～

初日は京都駅近くのキャンパスプラザ京都にて、全国通訳案内士として活動する上での心得や基本知識に関する座学講義を各講師による創意と工夫のパワポで解りやすく、学んで頂きました。

今年は初の試みとして、一部講義はリモートで行いましたが、距離を感じることはない対話もお楽しみいただき、臨場感ある講義となりました。また座学の後は、実際に京都駅ビルを歩きながら位置や導線、さらに翌日からのバス研修集合場所でもある貸し切りバス駐車場を確認しました。全国から参加の皆様と、少人数の良さを活かした中身の濃い研修をめざします。





二日目は京都のバス実習です。

午前中から龍安寺、金閣寺、二条城と必須のゴールデンルート各スポットをめぐり、それぞれの案内のコツや、金閣寺では池回りの写真スポットまでの案内ルートの変更点、二条駅前バス駐車場、清水寺の改修状態等注意点を丁寧に確認しました。



昼食後は平安神宮～知恩院～祇園と車窓で確認しながら東山方面へ。三十三間堂、清水寺を研修した後は清水から祇園までウォーキング実習をしました。

春休みに入ってすぐの土曜日、桜も満開とあって、どこも観光客で賑わっていましたが、より実践に近い雰囲気味わって頂けたとともに、昨年末に修復が終わったばかりの金閣寺や清水寺、そして各地での桜を満喫できました。

三日目は伏見稲荷と大阪、そして関西空港の実習です。

訪日客に大人気の伏見稲荷を実習した後、バスで大阪へ。広大な大阪城公園のルートをしっかり確認し、インバウンド人気が高かった道頓堀では、法善寺横丁や道具屋筋までウォーキングでくまなく回りました。

関西空港では、閑散とした国際線出発フロアの光景に衝撃を受けましたが、今年は終了を新大阪駅とし、希望者は新幹線ホームまで上って、列車送迎時の注意点・ポイントなどを確認しました。



最終日は奈良バス実習。京都発の日帰り奈良ツアーの車窓や距離感を確認しながら奈良公園へ。近年新設されたバスターミナルから東大寺南大門、大仏殿、二月堂、春日大社と丁寧に回って実習しました。



その後、散策が人気のならまちのウォーキング実習も取り入れました。

午後は京都に戻り、大手旅行会社のガイド担当様の特別講義。求めるガイド像を具体的にお話いただきました。さらに、今後の仕事の足掛かりとなるよう、

エージェント様との名刺交換&自己紹介の時間を

設けました。皆さん皆勤で修了証をお受け取りいただき、四日間の研修が終了しました。

コロナ禍で開催が危ぶまれたものの、無事に研修を実施できましたこと、またこうした状況にも関わらず、

志高く熱心に研修にご参加いただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに、ご受講者の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



※一部、2020年度研修時の写真を使用しています。